

1. 担当教員：

鄒青穎、檜垣大助、佐々木長市、加藤千尋、石田清

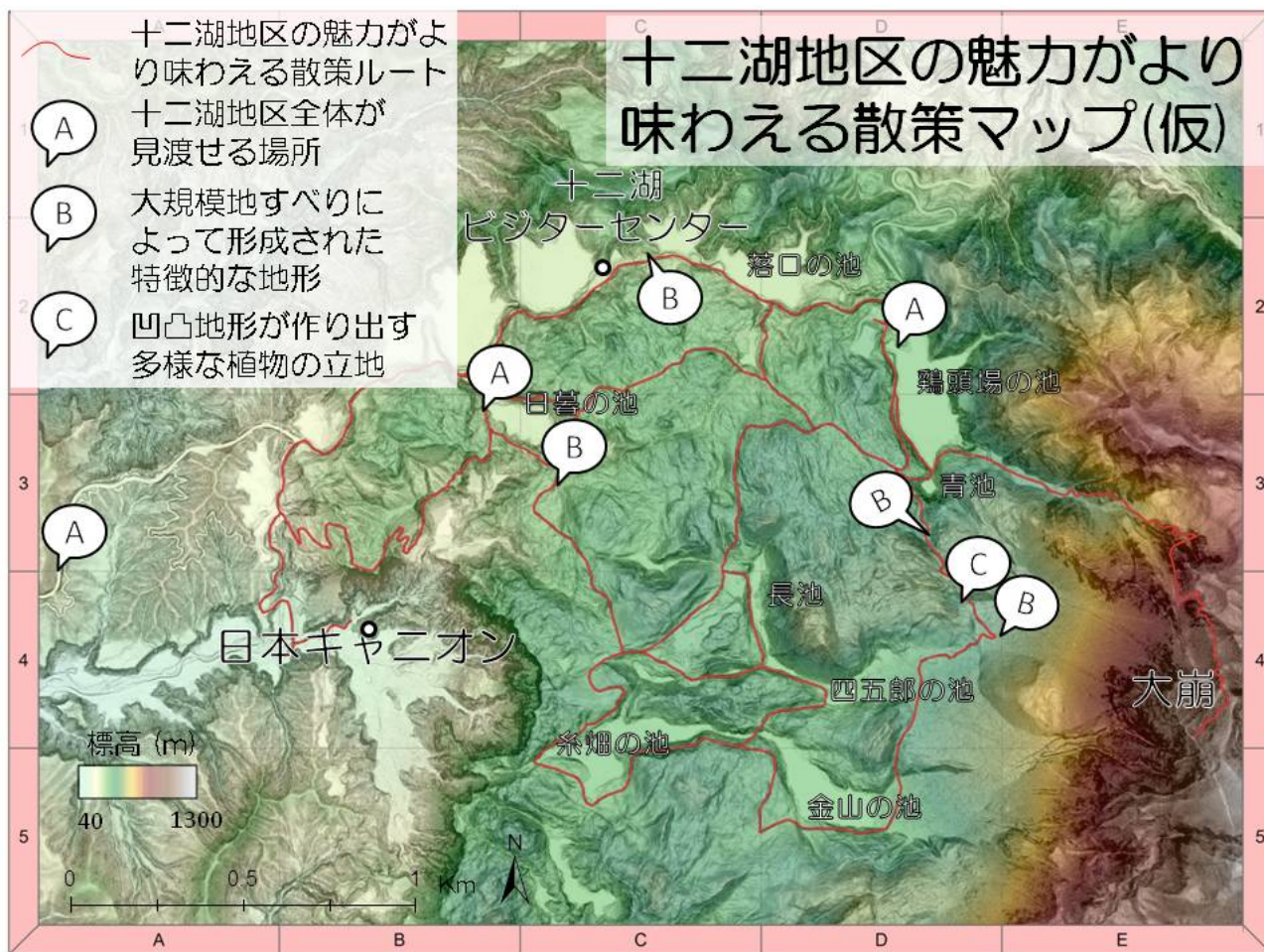
2. 課題名：※公表可能なタイトルに変更可

多様性のある自然環境を持つ地すべり地の観光等での継続的利用・保全

3. 概要：※300字程度

地すべりによって形成される変化に富んだ地形と土壤環境とその上の植生が織りなす多様性の高い自然景観や天然食料資源がそこに存在する。申請者らは昨年度に、津軽国定公園にある十二湖公園を予察し、地すべりによって形成された多様な地形や土壤条件や植物生態系があることがわかった。この特徴を活かして地すべり地の地生態環境を教材とすることで、白神山地が有する、自然環境の理解と保全意識を醸成する教育的機能や地域の観光資源としての機能を有効に活用できると期待される。そこで、本研究は、地すべり活動評価と土地環境、植物生態学的な評価の上で、資源利用の手法について提案する。

4. 参考資料：※図や写真とそのキャプション



十二湖地区の魅力がより味わえる散策マップ(仮)